

「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス 2022」を開催しました。

日本語を母語としない子ども達にとって、日本語による試験を経て入学する高校は、その後の人生を考える上で非常に高い壁となっている現実があります。そのような外国にルーツを持つ子どもたちの高校進学を支援するため、今年度も高校進学ガイダンスを開催しました。

会場には中国・フィリピン・ネパール・ベトナムなど18カ国の子どもや保護者ら183人が集まり、熱心に自分の行きたい高校についての情報収集や、受験資格についての相談をしていました。

また、ガイダンス当日は、参加者がスムーズに相談できるよう、17人の通訳スタッフと4人の日本語支援者等運営スタッフが、ボランティアとしてガイダンスを支えてくださいました。

ガイダンスで配布した資料（7言語、各3種類）は、埼玉県国際課のホームページに掲載していますので、学校や地域の日本語教室等で是非ご活用ください。相談窓口など、関係機関の問合せ先も記載しています。

■ 実施日：令和4年8月6日(土) 10:30～16:00

■ 会 場：ソニックシティビル 4階市民ホール（JR大宮駅西口）

■ スケジュール：

第1部：10:30～12:30 （10:00受付開始）

第2部：14:00～16:00 （13:30受付開始）

■ 主 催：埼玉県、(公財)埼玉県国際交流協会、(公財)埼玉県産業文化センター

■ 後 援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

■ 参加費：無料

■ 参加者：183人

<内訳>

○児童生徒 84人

（中学生、母国で中学校を卒業してから日本に来た人など。親のみの参加も含む。）

出身国 中国、フィリピン、ネパール、ベトナム、ウズベキスタン、パキスタン、タイ、イラン、ペルー、インド、インドネシア、ガーナ、コロンビア、スペイン、ナイジェリア、フィジー、ブラジル、ロシア（日本を除いて18か国）

○保護者などの随行者 79人

○その他の参加者（取材関係者など） 20人

■ スタッフ：54人 ※国際課と協会を除く

<内訳> 運営スタッフ 4人

通訳 17人（県教育局国際交流員2人含む）

高校生（体験談発表者） 4人

高校の教職員 16人

県教育局高校教育指導課 3人

県教育局県立学校人事課 1人（資格認定の説明）

県教育局財務課 2人（奨学金の説明）

県教育局義務教育指導課 3人

県教育局義務教育指導課帰国児童生徒等支援アドバイザー 1人

FRESC 外国人在留支援センター 3人